

# 令和5年度事業計画書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

当財団は令和3年度から令和7年度まで、川口総合文化センターの管理運営に係る指定管理者の指定を受け、優れた舞台芸術作品の提供や、市民の芸術文化活動の支援に関する取り組みを開館以来、継続的に実施している。さらに地域のコミュニティーの核として、その醸成を促進し、賑わいを創出する事業を実施するほか、効率的な運営を図るため経営に関する改革にも取り組んでいる。

令和5年度においては、with コロナ、after コロナを見据え、これまで培ってきた実績と経験を最大限生かしながら、市内における芸術文化の一層の振興と、真に豊かさとゆとりを実感出来る市民生活の実現のため、引き続き下記の目標を掲げ事業に取り組んでいくこととする。

新型コロナウイルス感染症の対応については、国並びに自治体の指針に従い、引き続き感染症対策を徹底の上、新しい生活様式を踏まえた安心・安全な運営を行っていく。

## 【当財団独自の事業展開】

本市の芸術文化の創造と発信の拠点として、様々なアーティストや文化団体との協働により、芸術性の高い特色ある事業を行い、地域文化の振興を図る。

## 【文化創造・育成事業の実施】

青少年による主体的な芸術文化活動を促進し、本市の芸術文化を支える裾野の拡大を図ることを目的に、市内小中学生を中心としたミュージカル団体「川口少年少女ミュージカル団」を運営し、作品の制作過程を通じた人材の育成や社会貢献する事業を行う等、市文化施設が果たすべき役割に積極的に取り組む。

## 【地域の核としての賑わいの創出と活性化】

市民参加型プログラムを実施する等、本市の文化芸術団体の方々と連携した取り組みを行うことで、地域の核としての賑わいを創出する。

## 1 舞台芸術作品の提供等に関する事業

### (1) 自主企画公演等の実施

メインホール、音楽ホール、催し広場といった各施設の利用特性に沿った、芸術性の高い舞台芸術作品の提供や、市民ニーズの高い話題性のある人気アーティストによる公演等を提供する。

#### ① メインホール (7事業7公演)

毎年公演を実施している人気のスカバンド、東京スカパラダイスオーケストラのコンサートを5月に実施する。7月には2021年ショパン国際ピアノコンクール第3位入賞のマルティン・ガルシア・ガルシアを迎え、ドイツが誇るオーケストラ、ハンブルク交響楽団の演奏をシルヴァン・カンブルラン指揮により実施する。12月には1985年ショパン国際ピアノコンクールで、当時若く19歳で観衆を熱狂させた世界的ピアニスト、スタニスラフ・ブーニンが10年振りにリリアで公演を実施。また、同じく12月に年末恒例の第九演奏会を、指揮者、ソリストともに実力派を迎え、国内オーケストラの演奏により実施する。1月のニューイヤーコンサートはリリア開館以前から市民会館で実施されていた「市民音楽会」を継承するもので、オーケストラによる名曲プログラムが毎年好評を博している。同じく1月に、人気落語家や実力派落語家によるリリア寄席を実施する。「リリアの日」事業は1990年7月1日に当文化センターがグランドオープンしたことにちなみ、毎年7月の第一日曜日を「リリアの日」としてコンサートやイベントを開催しているが、メインホールでは医療系大学を中心に約60校の学生とOBで構成される「交響楽団はやぶさ」の演奏で映像音楽等のプログラムによるオーケストラ・コンサートを実施する。

#### ② 音楽ホール (15事業18公演)

優れた音響建築で開館以来、演奏家からも聴衆からも高い評価を得ている音楽ホールでは、これまでも世界のトップ・アーティストから新進気鋭の若手まで幅広いアーティストを起用し、クラシックを中心とした公演を実施している。当音楽ホールでの公演でデビューを飾り、現在活躍中のアーティストも多く輩出している。また埼玉県内の公共ホールでは、はじめて設置されたパイプオルガンによるコンサートも定期的に行われ、「ワンコイン・パイプオルガン・コンサート」は安定した来場者を確保している。世界的レベルの演奏を鑑賞できる機会としては、1990年史上最年少でチャイコフスキー国際コンクール優勝以来、世界の名だたる指揮者、オーケストラと協演を重ね圧倒的な存在感で魅了するヴァイオリニスト、諏訪内晶子の演奏会を実施する。そのほか、J.S.バッハが書いた受難曲のうち最も完成度が高いと言われる「マタイ受難

曲」を古楽アンサンブルのアントネッロにより実施するほか、世界的ジャズピアニスト小曾根真とイスラエルを代表するベーシスト、アヴィシヤイ・コーエンによるデュオ・リサイタルや、日本でも人気の高いフランスのピアニスト、パスカル・ロジェによるピアノ・リサイタルを実施する。また、アムステルダムを拠点とする世界屈指のオーケストラ、ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団の金管セクションメンバーによるブラスアンサンブルコンサートや、NHK スペシャル「映像の世紀」のテーマなど多くの映像音楽の作曲を手掛ける、加古隆とカルテットによるコンサートや、演出家の蜷川幸雄氏から、その演奏は“深い感動を呼び起こす”と絶賛された三味線の本條秀慈郎が邦楽アンサンブル MAHOROBA を率いてのコンサートを実施する。

そのほか、リリアの友の会組織であるリリアメンバーズ会員のための優待コンサートとして、一般料金より大幅に低廉な入場料金を設定し、オペラ界のミューズ、ソプラノ歌手の幸田浩子が気鋭のサクソ奏者、上野耕平をゲストに迎えてのスペシャルなリサイタルを実施する。「いま、注目の演奏家たち（シリーズ）」は2016年モントリオール国際音楽コンクール第1位と併せて5つの特別賞を受賞したヴァイオリニストの辻彩奈、2021年ショパン国際ピアノコンクール第4位入賞、同年出光音楽賞を受賞したピアニストの小林愛実、2021年ジュネーヴ国際音楽コンクールのチェロ部門で日本人初の優勝を果たし、2021年出光音楽賞受賞、同年文化庁長官表彰を授与されたチェリストの上野通明といった、今がまさに旬の若手アーティスト3名が登場する。若手アーティストの公演を継続的に実施・発信することで、次世代の発掘支援に貢献する。

一方、誰でも気軽に音楽に触れられる機会の提供や幅広い層の聴衆の確保を目的に、ミュージカル歌手として人気の田代万里生とオペラ歌手として活躍中の加来徹と坂下忠弘によるスペシャルコンサートや多くのゲーム音楽を手掛ける人気作曲家の伊藤賢治によるゲームミュージック・セレクションコンサート等を実施する。音楽に接するための選択肢を用意することで、誰もが音楽を身近に感じることのできる環境を創出する。

### ③ 催し広場 （4事業8公演）

催し広場の収容人数150名といった空間は、アーティストの息遣いまで聞こえる聴衆との濃密な距離感を生み、好評を博している。ピアニスト宮谷理香の演奏とお話による「リリア・ピアノサロン」はテーマを決めた年3回のシリーズコンサートとして実施している。今年度は「ショパン」をテーマに多彩なゲストを迎え実施する。「リリアの室内楽」は、優れたアンサンブルピアニストであり、室内楽の名手である大須賀恵里が、構成・お話・演奏を担当し、新進気鋭から中堅まで共演者を迎え、全2回の

シリーズコンサートとして実施する。そのほか、邦楽ワークショップや音楽と朗読などの公演を実施する。

## (2) 特別文化推進事業の実施

本市の芸術文化活動の拠点としての存在を広くアピールし、幅広い世代に芸術文化の体験機会を提供することを目的に教育・啓発プログラム等の事業を入場料無料で実施する。「パイプオルガン無料演奏会」は音楽ホールの顔ともいえるパイプオルガンの演奏を気軽に楽しんでもらう企画として応募制で実施する。

## (3) 広報・宣伝等

### ① 財団情報誌「リリアプレス」の発行

財団の主催する公演や活動内容を紹介する情報誌「リリアプレス」を年 6 回、25,000 部発行し、事業の周知、来場者ならびにチケット販売促進につなげる。行政機関・教育機関・自治会・企業等、約 5,000 箇所を送付する。

### ② 財団ホームページの開設

財団のホームページに催事情報と施設概要を掲載。施設の空き情報を掲載し、施設の予約抽選申し込み、また、財団主催・共催事業のチケットの予約をウェブ上で行えることで利用者の便宜を図る。また、随時 SNS での情報発信を行う。

### ③ アンケートの実施

文化事業ならびに施設利用について、広く市民からの意見を財団の運営に生かすべく、アンケートを実施する。公演時にアンケート用紙を配布し、館内にもアンケートコーナーを設けるほか財団ホームページからも回答を行える。

### ④ その他

広報かわぐちへの情報掲載、チラシの配布、駅貼り等のポスターの掲示、音楽専門誌や新聞への広告宣伝の掲載等を行うなど積極的に情報発信し、事業と施設を PR する。

## (4) メンバーズ事業

財団主催・共催事業のチケットの優先予約や割引販売を行うことにより、顧客の定着化とチケットの販売促進を図る。

会員数：2, 851 人（令和 5 年 2 月末日）

なお、施設の大規模改修工事に伴う全館休館が予定されていることから、新規入会については2月末で停止とした。

#### (5) 共催事業の実施

幅広いジャンルの事業を実施するため、催事を誘致し、芸術文化団体やプロモーター等が実施する公演に対し、その内容を検討のうえ施設利用料の一部を当財団が負担することにより共催事業を実施する。

#### 【予定される共催事業】

THE ALFEE コンサート／川口市制施行 90 周年記念事業／斉藤和義コンサート／さだまさしコンサート／郷ひろみコンサート／来生たかおコンサート／落語三人会／新日本フィルハーモニー交響楽団ファミリーコンサート／劇団四季ミュージカル／アンパンマンミュージカル ほか

### 2 芸術文化活動の場の提供に関する事業

本市の芸術文化活動の拠点施設として、当文化センターの各施設の持つ機能を効果的に活用して施設貸与を実施する。各施設が十分活用されるよう事前の打ち合わせを舞台担当者も含めて行う等、利用者のサービス向上に努めるほか、施設の空き情報を当財団ホームページで提供する等利用率の向上に努める。

### 3 芸術文化に係る事業を推進するための付帯事業

施設利用者の便宜を図るため付帯事業を実施する。

#### ① 駐車場の運営

#### ② チケットセンターの設置

財団主催・共催事業のチケットの販売、ならびに他会場のチケット販売を受託する。

#### ③ 財団主催・共催事業実施時のCD等の物品販売

#### ④ イベント機器貸出や看板の制作等を請け負うイベントサービスの設置

#### ⑤ 当センター内のレストラン事業者と連携した飲食サービス、自動販売機の設置

#### 4 助成・補助事業

##### ① 文化活動支援事業（応募型）

施設を利用している市内の学校、ならびに文化団体またはアーティスト等の個人に対し、その活動費の一部を助成することにより、地域の文化振興を図る。

##### ② 補助事業

市内のアマチュア音楽団体が加盟する川口市民音楽協会に対して、活動費の一部を助成することにより、地域の音楽文化の振興を図る。

#### 5 公益比率の目標（公益認定の基準）

公益認定法第5条第8号にもとづき、令和5年度の公益比率を75.5%とし、公益財団法人としての役割を果たす。（別紙のとおり）

令和5年度 収支予算の事業区分経理の内訳書

## 公益目的事業比率 75.5%

公益目的事業 文化振興事業 自主公演・共催事業・文化活動助成・ミュージカル団育成  
 地域振興事業 会議室・ホール等の貸出のうち、公益性があると認められたもの

収益目的事業 施設貸与等事業 駐車場・会議室・ホール等の貸出  
 利用促進事業 イベントサービス・自動販売機・公衆電話利用料

### 経営収支

	公益目的事業				収益目的事業				法人	総合計
	文化振興事業	地域振興事業	共通	小計	施設貸与等事業	利用促進事業	共通	小計		
経常収益	530,158,000	213,861,000	0	744,019,000	152,732,000	17,232,000	43,804,000	213,768,000	62,854,000	1,020,641,000
経常費用	528,541,000	229,872,000	0	758,413,000	120,130,000	6,283,000	43,804,000	170,217,000	76,962,000	1,005,592,000
経常増減額	1,617,000	△ 16,011,000	0	△ 14,394,000	32,602,000	10,949,000	0	43,551,000	△ 14,108,000	15,049,000
事業比率	52.6%	22.9%	0.0%	75.5%	11.9%	0.6%	4.4%	17.0%	7.6%	100.0%